

広がる・つながる食育

倉敷まきび支援学校給食室

「ぼくぼくだよい」

2月号



(令和2年2月3日)

4日は立春、暦の上では春ですが、まだまだ寒さ厳しい時期です。インフルエンザなどが流行しています。家に帰ったときや食事の前には、手洗い・うがいをしっかりすることを続けましょう。今月は給食週間中実施した内容をお伝えします。

今月の給食目標

あいさつをじょうずにしよう

「いただきます。」には、食材の命をいただく感謝や料理になるまでの労力への感謝が込められています。「ごちそうさま」を漢字で書くと「ご馳走(ちそう)様」です。駆け回り食材を集めてくれたことへの感謝の意味をあらわしています。

倉敷まきび支援学校の給食週間

令和2年1月17日(金)～1月23日(木)

いろいろな先生と一緒に給食をたべました。

校長先生をはじめ副校長先生や養護の先生、栄養教諭、給食を作ってくださっている調理の先生、分担して一緒に給食を食べました。



校長先生と小学部4年生



調理の先生と小学部6年生

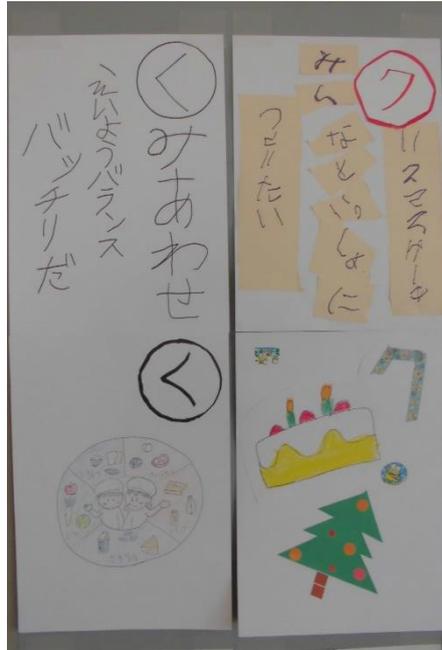
一緒に食べていると自然と笑顔になります。中学部高等部になると少し恥ずかしいですが、お話をしていると打ち解けてきます。

「給食かるた」の作品を一部紹介します。

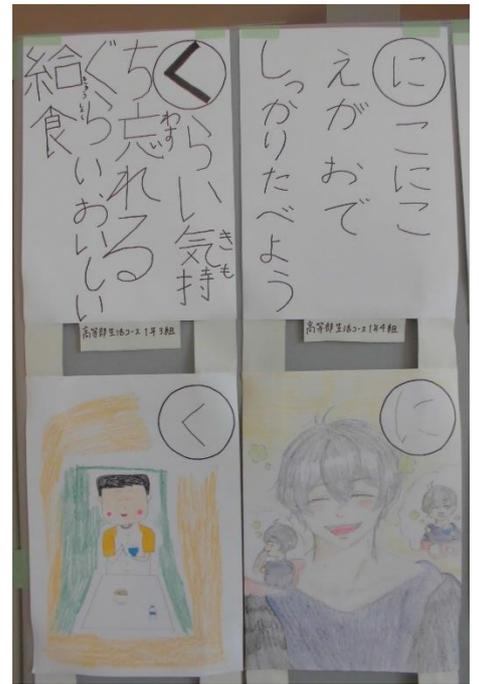
知・小学部



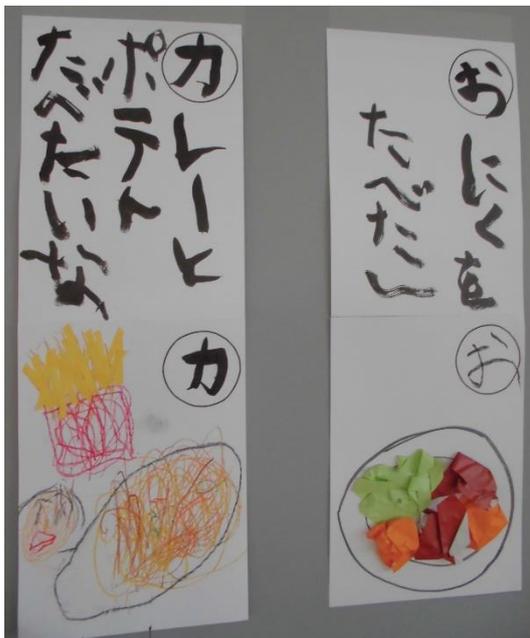
知・中学部



知・高等部



肢体部門



給食のできるまで「秋野菜のシチュー」編
を見たり、給食室の中を見学したり、道具に触
ってみたりして、感謝の手紙も書きました。



今年は、特に感謝の気
持ちはたくさん寄せら
れました。「まび産直」
のみなさんにもお手紙
を届けます。